

活動名 重度・重複障害児スポーツ・レクリエーション活動教室	団体名	重度・重複障害児スポ・レク活動サークル「はなまるキッズ」支援チーム
	地域	広島県広島市
	代表者	世話人代表 加地 信幸
	支援金額	45万円
活動概要		
<p>本団体が開催する教室では、特別支援学校へ在籍する重度・重複障害児のスポーツ・レクリエーション活動を支援できる障害者スポーツ指導員養成を目的とする。また、地域社会では彼らの参画できる生活体験の場が皆無である事に加え、①既存の種目では活動が困難である ②健康面への多大な配慮を要するといった点から、専門職(理学療法士、看護師、介護福祉士、保育士等)でメンバーを構成し支援にあたりつつ専門性の高いボランティア育成に努めている。</p> <p>◆実施時期：2008年4月26日～2009年3月28日</p> <p>◆参加人数：子ども：7名 保護者等：10名 障害者スポーツ指導員(登録ボランティア)：19名</p> <p style="text-align: right;">参加総人員 36名</p>		



《トランポリン運動》



《ウェットスーツ水泳運動》



《マット・コロコロ運動》

◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

- ・本団体が実施した、重度・重複障害児を対象としたスポーツ・レクリエーション活動を中心とした教室において①余暇活動プログラムの開発・実践の拡大②障害者スポーツ指導員(ボランティア)の人材育成と資質・指導力の向上の2点について充実をはかることができた。
- ・重度・重複障害児が、サポート方法や道具の工夫により、スポーツ的活動ができることをボランティアで協力していただけた福祉・医療関係職員等を中心に理解していただくことができた。

◆苦勞した点

- ・障害の重い子どもたちが、病院や施設を離れて、スポーツやレクリエーション活動を実施するには、医療面の知識はもちろん直接身体に触れるための基本的な運動支援方法を身につけておくことが求められます。よって、専門的な知識と経験を身につけておく必要があることから、ボランティアの方々には教室への毎回参加をお願いしてきました。殆どのボランティアの方が仕事をされているので、事前に休暇をとって参加していただきました。しかし、休日がうまく取得できなかった場合には参加が難しい方が若干ありました。継続的に参加していただくことに難しさを感じています。
- ・使用する器材が大型のため、運搬には苦勞しました。また、ご協力いただいている活動場所が東広島市ということで自家用車のない方は参加が難しいのではないかと感じることもありました。また、広島市内で行うことも考えましたが駐車場が確保できないため、実施は困難な状況でした。

◆今後の課題・発展の方向性

- ・月に1回の教室開催を行ってきた結果、徐々にボランティアの参加者が定着してきました。しかし、多くの登録者に毎回都合をつけて参加していただけるまでには至っていないのが現状です。継続的にボランティアが毎回参加していただける状況を確認していくことが今後の課題と考えます。
- ・移動方法や物品移動や管理についても、本団体で再度検討し、次年度はスムーズな運営ができるよう改善をはかっていきたいと思ひます。

◆活動を終えての感想・意見等

マツダ財団より多くの支援をいただくことができたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。特に、重度・重複障害児の運動支援を行う場合、特殊な器具が必要となります。これらの器具は大変高価なものですが、マツダ財団から支援をいただいたことで、ある程度購入することができました。おかげさまで、子どもたちの重い障害実態に応じた楽しいスポーツ・レクリエーション活動を行うことができました。また、ボランティアの方々もそれらの器具を効果的に活用しながら子どもの支援を行うことのできる技術向上をはかることができました。本当にありがとうございました。